

厚生労働科学研究成果データベースへの成果報告について

はじめに

厚生労働科学研究は、「厚生労働科学研究の振興を促し、もって、国民の保健医療、福祉、生活衛生、労働安全衛生等に関し、行政施策の科学的な推進を確保し、技術水準の向上を図ること」を目的としています。

独創的又は先駆的な研究や社会的要請の強い諸問題に関する研究について、競争的な研究環境の形成を行いつつ、厚生労働科学研究の進行を一層推進することとしています。

厚生労働科学研究成果データベースは、補助金の交付を受けて実施された厚生労働科学研究の研究成果を、Web 上より報告・公開するシステムです。報告された研究成果は本データベースから、広く一般に公開しております。更に迅速な公開を促進し、理解推進を図るため、ご協力をお願いいたします。

厚生労働省が所管する厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省行政推進調査事業費補助金を含む)による事業は、省庁再編により令和 5 年度に子ども家庭庁に、令和 6 年度に消費者庁に一部の事業が移管されました。

本データベースでは、移管された事業についても、一部を除き取り扱うこととなりましたので、

- ・厚生労働科学研究費補助金(厚生労働省行政推進調査事業費補助金を含む)
- ・こども家庭科学研究費補助金(こども家庭行政推進調査事業費補助金を含む)
- ・食品衛生基準科学研究費補助金(食品衛生基準行政推進調査事業費補助金を含む)

を成果報告に関する各ドキュメントでは総称して「厚生労働科学研究」と記載いたします。

なお、「厚生労働科学研究成果データベース」の運営は、厚生労働省大臣官房厚生科学課と調整の上、国立保健医療科学院が行います。

厚生労働科学研究成果データベース(研究成果報告)の機能

1. 研究者登録確認
2. 提出物の確認
3. 報告
 - ・研究報告書概要版の Web 登録
 - ・研究報告書 Web 登録(PDF アップロード)
 - ・収支報告書の Web 登録
 - ・行政効果報告(助成研究成果追跡資料)の Web 登録・更新
4. 上記報告の進捗確認
5. メタデータ件数の報告